

平成24年度地域づくり表彰事例の概要

受賞名 団体名 (都道府県名・市町村名)	活動の概要		問い合わせ先
<p>国土交通大臣賞</p> <p>諏訪アライアンスプロジェクト さいか</p> <p>(長野県下諏訪町)</p>	<p>平成18年4月に発足し、諏訪地域の商店街、各種団体など多くの組織と連携を図りながら活動しており、その企画・運営スタイルは、実行委員会形式を用いない(代表を置かない)、メーリングリストによる情報共有を重視、イベントは各地区・団体の可能な範囲での持ち寄り、といった特徴を持つ緩やかな連携による自立分散型の組織である。</p> <p>主な活動として、毎年2月に「スワイち」というイベントを開催している。これは、本組織の特徴を活かして地域や団体間での更なるネットワーク強化を目指し、「お菓子:をかし(面白い)」を共通テーマに、各地域・団体がイベントを持ち寄り同時発的に開催する連携型イベントである。平成19年の第1回では諏訪湖周エリア3市町のみでの開催で来場者数1,500名であったが、今年2月の第6回開催時には、ハヶ岳山麓エリアを含む6市町村を会場とし、来場者数13,000人にまで拡大し、諏訪地域の冬の風物詩として定着している。また、諏訪エリアファンブック「スワシラン」を発行し、諏訪の様々な魅力の情報発信を行い、新たなファンの獲得を目指している。</p>	 <p>「スワイち」の様子(湖周エリア)</p>	<p>下諏訪町総務課企画係</p> <p>0266-27-1111</p>
<p>全国地域づくり推進協議会 会長賞</p> <p>足利・名草ふるさと自然塾 運営協議会</p> <p>(栃木県足利市)</p>	<p>足利市の北部に位置する名草地区に残る豊かな自然環境や施設、人的・文化的資源などの特性を生かして、「自分でものをつくり、参加し、体験する」ことで自己を発見し開発する余暇活動の場を提供し、都市と農村の交流により地域活性化を図ることを目的として、里山の保全管理を行うNPO法人や観光協会、自治会や社会福祉協議会、育成会・PTAのほか山野草やそばの愛好会など、様々な団体が参加し活動している。</p> <p>平成22年にオープンした「名草ふるさと交流館」を活動の拠点とし、稲や大豆の栽培や炭焼きなど里山ならではの体験プログラムや、協議会が企画・運営するイベント、コンサートなどを通じて都市と農村の交流を進め、地域の活性化に率先して取り組んでいる。</p>	 <p>田んぼの体験教室の様子</p>	<p>足利市産業観光部農務課</p> <p>0284-20-2161</p>
<p>全国地域づくり推進協議会 会長賞</p> <p>特定非営利活動法人 未来</p> <p>(鳥取県倉吉市)</p>	<p>平成13年の「第1回未来ウオーキング」の開催以降、毎年ウオーキング大会を開催しており、現在は鳥取県中部1市4町全域を活用して「SUN-IN未来ウオーキング」を開催、平成16年には韓国国際ウオーキング大会組織委員会(現在大韓ウオーキング連盟)と交流協約を締結した。平成21年にはウオーキングで5K(健康・観光・環境・交流・教育)に効果をもたらす「ウオーキング立県とっとり」を提唱し、県・市町村と協働で各種事業を展開している。その結果、県内全19市町村でのウオーキング大会の実現等、その効果は県内全域へ波及している。またウオーキングだけでなく、地元資源を活用したまちづくりや福祉事業など各方面で活動している。</p>	 <p>SUN-IN未来ウオーキング出発式の様子</p>	<p>倉吉市企画振興部総合政策課</p> <p>0858-22-2717</p>
<p>全国地域づくり推進協議会 会長賞</p> <p>南島原市冬のお祭り 実行委員会</p> <p>(長崎県南島原市)</p>	<p>戦国時代にキリシタン文化が花開き、江戸時代の島原の乱によりキリシタン文化が徹底的に破壊・焼却された島原の歴史性を生かそうとイベントを立案。シンボルは高さ30メートルと立ち木としては日本一級のクリスマスツリーであり、今や南島原市の冬の風物詩へと成長。イベントは町内の物産販売の他、400年前に城下町に流れていたラテン語のグレゴリオ聖歌再現、貴重な輸入砂糖を使用した南蛮菓子の復元、大航海時代の流れを組むボルトガルワインの販売、文献資料に基づいた南蛮料理の再現から、城下町を練り歩いた南蛮行列の再現で構成している。また、実行委員会の構成団体が、平成23年度よりセミナーヨ授業再現事業を実施する等、南島原市で実施するからこそ意味がある取り組みを行っている。</p>	 <p>南蛮行列の再現</p>	<p>南島原市企画振興部企画振興課</p> <p>050-3381-5030</p>
<p>日本政策投資銀行賞</p> <p>島を美しくつくる会</p> <p>(愛知県西尾市)</p>	<p>島を美しくつくる会は、過疎・高齢化に悩む佐久島において、島民の自主的かつ創意あふれる活動を通して、自然、風土、歴史、産業といった佐久島固有の資源を発掘・研磨し、経済的発展や交流人口の増大、定住人口の確保といった島の活性化を図るために活動している。</p> <p>行政との協働により、「ひと里」、「美食」、「漁師」、「いにしえ」の4つの分科会を核として、定住対策の推進、商品開発の推進と起業精神の喚起、住(む)・観(る)の調和のとれた景観づくり、伝統・歴史の保存を通じた地域文化の復興、アートとの交流の場づくりに取り組んでいる。</p> <p>これらの活動は、島民や島外からの参加者の交流の接点となり、楽しみながら島全体を元気にしていく原動力となっている。</p>	 <p>黒壁運動の様子</p>	<p>西尾市地域振興部佐久島振興課</p> <p>0563-72-9607</p>